

第17回 三経連経済懇談会 北経連の主な発言の内容

○挨拶 [永原会長]

- ・東日本大震災から1年半を経たが、被災された方々の生活は、復興はおろか復旧の動きはなお進んでいないのが実態かと思う。われわれの想像をはるかに超える未曾有の大災害が東北で発生したことに、同時代を生きる日本人として改めて思いを馳せ、決して風化させてはならない。
- ・北海道は農水産業、食品加工業が大変盛んであり、「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」が展開されている。明日はここ帯広において、農業と食品可能に関し、世界的視野に立った取り組みを視察できるとのこと、大変楽しみにしている。
- ・北陸経済連合会では、
 - ①東海・東南海・南海大震災に備え、安全・安心な国土づくりとしての災害時における代替補完機能の確保
 - ②産学官連携・知的資産経営の促進及びアジア地域との連携による海外展開支援等による新産業の創出----を本年の重点方針として掲げている。
とりわけ、北陸新幹線の敦賀延伸の早期実現、大阪へのフル規格による全線整備の実現を最大の課題として取り組んでいる。

○懇談・テーマ1「次世代ロボット、コンバートEV、北陸・韓国経済交流会議に関する紹介」 [鷹西氏]

- ・北経連では、イノベーション推進事業部を通じ、北陸地域の活性化を図るための産業支援活動として、産学官連携および知的資産経営の促進によるイノベーション創出の支援事業、ならびに生産性・付加価値向上のための企業間連携の支援事業を展開している。
また、北経連の国際展開支援部門とも言える北陸AJECと連携して、環日本海さらには東アジア諸国とのビジネス連携、国際産業人材の育成に力を注いでいる。
この取組みの中で、①次世代ロボット ②コンバートEV ③北陸（日本）・韓国経済交流会議——の3分野について紹介する。
- ・＜次世代ロボット＞
ロボットの要素技術にかかわる地元7大学・3高専の研究者と北陸企業の技術者が幅広く情報共有・技術連携を行う場として、「次世代ロボット研究会・北陸」を発足した。この研究会では、これまでにインフラ企業や医療・介護施設、農業などの現場に足を運び、作業に従事されている方々のニーズ把握を行っている。今後はマッチングや要素技術の進展につながるよう、活動を進めていく。

・＜コンバートEV＞

中古車両のエンジンと燃料タンクを、モーターと電池に載せ替えることで電動化を実現するコンバートEV技術の実用化に取り組んでいる。昨年秋に、開発に積極的な地元メーカーにて実証車を完成。その後、実証車による実測データの収集、実用化に向けた課題の整理を行ってきた。この6月には「コンバートEV事業化研究会」を発足し、実用化に向けた課題解決に取り組んでいる。

・＜北陸（日本）・韓国経済交流会議＞

北陸（日本）・韓国経済交流会議は今年度が13回目で、10月に「北陸技術交流テクノフェア」に合わせて福井県で開催する。今年度の会議では、「複合医療」「物流・人流」「環境産業」をテーマとした専門分科会を実施する。

昨年度、慶州で開催された会議において、富山県の医薬品メーカーが韓国・大邱（テグ）慶北韓方産業振興院との間で、漢方薬の共同研究・開発にかんする覚書の締結に至るなど、成果が上がってきている。

○懇談・テーマ2「一極一軸型から分散多軸型の国土へ」【犬島副会長】

- ・わが国は、東京一極集中、東京-名古屋-大阪に至る交通路が充実する『一極一軸型』の国土である。地域の活力の源には「一極一軸型から分散多軸型の国土へ」構造を転換することが重要である。
 - ・従来、北海道・東北・北陸地域においては、必要不可欠な社会資本の整備が大都市圏に比較して大幅に立ち遅れており、高速交通ネットワークにおけるミッシングリンクの解消も進んでいない。
 - ・悲願である北陸新幹線は、金沢開業が平成26年度末と近づいてきたが、北陸地域も自らが知恵を出し努力して、新幹線のポテンシャルを存分に発揮することが必要。当連合会では、北陸三県の広域観光推進に向け、「北陸物語」の発行やフェイスブックの開設、首都圏での北陸フォーラム開催等を通じた北陸の魅力のPR等に努めている。
 - ・一極一軸型の国土は、平時には効率的ながら、ひとたび大きな災害が太平洋側で起こった場合、まさに国家の存亡にかかわる。一方、先般の大震災では、日頃は忘れられがちであった日本海側の交通路・港湾、ローカル路線などのバイパス機能が大きな働きをした。
 - ・日本全体を『災害に強い国土』とするために、北陸新幹線敦賀延伸の早期実現、大阪までのフル規格全線開通および高規格道路の早期開通を、強く政府に求めたい。
 - ・現在の政治は、公共事業、国防、エネルギー等の重要な問題に対して、ポピュリズムに傾いている。国民の安全を守るため、警戒感をもって毅然と対応してもらいたい。
- 以上